



ふれあい

2024年4月
現在の会員数
男性 1,382名
女性 726名
合計 2,108名

2024年/4月
181号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/東京都府中市府中町1-30 ふれあい会館1F/TEL042-366-2322



安全健康ウォーキング大会



府中市民さくらまつりパレード

●目次

- 令和6年度事業計画のあらまし 2
- シルバーフェア・地域懇談会 (住吉・片町) 3
- 白糸台地域ボランティア清掃 3
- 働く会員の職場訪問 (手取り除草班) 4
- 生涯現役!輝くシルバーさん 4
- これからシルバー応援フェスタ・梅まつり 5
- 頑張っています!元気な班長さん 5
- 第8回ふれあい作品展 6
- 第33回安全健康ウォーキング大会 6
- KSK写真コンテスト・総会案内 7
- 事務局職務分担のお知らせ 8
- ボートレース平和島ツアー・訃報・編集後記 8

令和6年度 事業計画のあらまし

1. 基本方針

本年度は第4次中期計画の2年目で、秋にはフリーランス法が施行予定であり、その的確な対応が必要になっています。関連して、会員のデジタル技術の理解と活用の向上に取り組んでまいります。

また、「地球沸騰化」の到来が予測される中、会員の安全と健康を優先する方針により、安全就業の徹底を図ってまいります。

2. 事業実施計画

(1) 組織体制の充実強化

① 理事会・各委員会等で課題の共有と解決への検討を行い、適切な組織運営を図ります。また、理事会の活性化を促進します。

② デジタル化に向け、パソコンやスマートフォン等に不慣れな会員へのサポート体制を導入します。

③ SDGs対応として就業の男女共同参画、会員間のいじめ・差別を撤廃します。

④ 事務局職員の資質向上のため研修等へ参加します。

⑤ 監事による監査会を実施し、年2回外部の公認会計士による監査を行います。

⑥ フリーランス法の情報収集に取り組み、適切な対応の調査・研究に努めます。

(2) 就業機会の開拓及び提供

① 就業開拓員を確保し、発注開拓と契約維持に努めます。

② 年齢に応じた働き方を検討し、就業開拓に努めます。

③ 就業相談会を実施し、就業率の向上を目指します。

④ 会員交流事業を充実します。

⑤ 公平な就業機会を提供し、就業希望のミスマッチの解消に努めます。

(3) 会員の増強

① オンライン入会、毎月の入会説明会を実施します。

② 市報・新聞折込みによる会員募集を実施します。

③ 市民まつりや市役所等で入会・就業相談を開催します。

④ 退会者対策・高齢会員対応のため、地域懇談会、親睦・サークル活動を支援し、会員の交流活動を推進します。

(4) 女性活動

① 女性会員の活躍の場を創るため、女性会員の加入促進、就業拡大を推進します。

② シルバーブランドを立ち上げ、小物班等のイメージアップ、販路拡大に努めます。

③ 就業における女性活躍をホームページ等で発信します。

④ 男女の分け隔てなく就業できる環境を整えます。

(5) 普及啓発活動

センター事業の理念・仕組みを地域社会に周知し、入会者・就業依頼の増加に努めます。

① ホームページや各文化センターの掲示板を活用します。

② 事業主・事業所向けにシルバー事業派遣案内のチラシを配布します。

③ 会報「ふれあい」を年4回発行し、PRに努めます。

④ 各種イベントに参加し、市報や市のメール配信サービス、新聞折込み広告等の公共の媒体を活用します。

(6) 社会貢献活動

地域ボランティア活動を通じ、社会貢献への支援を強化します。

① けやき並木周辺の清掃、多摩川清掃などを実施します。

② 市内の歩道や公園、学校周辺等の清掃、公共施設・福祉施設の除草等を実施します。

③ 市内全域で一斉に活動する「ボランティアの日」を設定し、センターの認知度向上に努めます。

④ 一般市民を対象とした植木の手入れ・着付けの講習会等を無料で実施します。

⑤ 交通安全パレードに参加し、安全意识の向上に努めます。

(7) 研修、講習の充実

① 東京しごと財団実施の就業支援講習や、関係団体主催の各種研修会、講習会への参加を促します。

② 新入会員研修、接遇研修、除草・清掃・植木剪定等の講習会を開催します。

③ 派遣事業登録会員に必要な教育訓練としての講習会・研修会を実施します。

(8) 安全対策の推進

会員の安全就業はすべてに優先し、就業中・経路途上の事故を未然に防ぐよう取り組むとともに、心身の健康維持に役立つ情報を提供します。

① 自転車利用時のヘルメットの着用を促進します。

② 事故発生状況を分析し、会員にその情報を周知します。多発する事故は重点的に対応を検討します。

③ 安全就業巡回指導パトロールを強化し、「安全推進大会」を年2回開催します。

④ 「安全・健康ニュース」を年3回発行し、安全マニュアルを活用し安全就業を徹底します。

⑤ 感染症や地震災害等に備えた初動、応急体制を整え、会員の安全対策に努めます。

⑥ 夏季の猛暑期間中の屋外作業には、就業日・時間制限等を設け、安全管理を徹底します。

シルバーフェアが開催

3月23日(土)、府中市市民桜まつりに合わせて「シルバーフェア」が開催されました。あいにくの曇り空で肌寒く、桜もほとんど咲いていない中でしたが、200名弱の来場者がお見えになりました。

パソコン教室、FSCハンドメイドクラブ(旧小物班)の作品販売、刃物研ぎ、FSCリフォームけやき、学習教室相談会、書道教室作品展のほか、スーパースーツ、花苗配布、シルバー入会相談と、多岐にわたり出店しました。

残念ながら来場者は少なかつたですが、未来に繋がる種になればと思います。来年は、名実ともに満開の桜まつりのものとシルバーフェアなることを願っています。



住吉地域懇談会が開催

3月6日(水)午後1時30分から、住吉地区の地域懇談会が住吉文化センターで開催されました。地域懇談会には、当センターから松井会長、関根常務理事、中田事務局職員等が参加されました。



小谷班長の開会の挨拶のあと、松井会長から「センターの現状と課題等」の説明がありました。

次に、参加者の自己紹介へと進み、休憩後は、市役所の税務・国保担当

係長から「安定した医療制度を目指して」、「国民健康保険と後期高齢者医療制度のしくみ」について講演がありました。

結びに、笹川地域委員から参加者60名へのお礼等の挨拶があり、和やかなうちに閉会となりました。

片町地域懇談会が開催

2月10日(土)13時30分から、片町地区の地域懇談会が、片町文化センターで開催され、会員17名が参加しました。



佐藤地域委員の司会で始まり、府中市の文化生涯学習課武居係長による二人ひとりの人生を豊かにする「生涯学習」の講座がありました。

次に、当センターの役員紹介(関根常務理事・田中理事・相澤理事)、片町地区の各班長の自己紹介、出席会員の自己紹介が続きました。その後、関根常務理事から「シルバー人材センターの現況」について説明がありました。

休憩をはさんだ後、会員の懇談会に入りました。最後に、アンケートの記入、集合写真を撮り、16時45分に閉会となりました。

白糸台地域ボランティア清掃

11月11日(土)の9時から、第九中学校に集合した会員により、学校前の市道の両側の歩道等のボランティア清掃が行われました。

この地域では、夏と冬を除き年に8回開催されています。その日は、急な寒さで出足がもう一つでしたが、10名がセンターの安全ビブスを着用して参加しました。

ここでは九中地区と六中地区とが交互に実施され、前回の清掃は18名の参加と伺いました。



終了後に、柿崎地域委員から挨拶があり、「ボランティア清掃は地域貢献事業だが、会員とのコミュニケーションのきっかけになる」とのこと。その後、会員の自己紹介があり、中にはシルバー歴30年、90歳で元気に就業する会員の声などが聞かれました。

働く会員の職場訪問
手取り除草班



釘本 義男さん

今回の職場訪問は手取り除草班のリーダーである釘本義男さんにお話を伺いました。

業務内容は、除草作業が主ですが、市民農園の区画割など、除草以外の業務もあります。

就業場所は、市民農園、公園、緑道などのほか、民間のマンションや個人住宅です。8人で班を組み、就業場所の広さによって、2〜3人から6〜7人で業務にあたります。高齢者のお宅では、恐縮するくらい感謝されたりもします。

就業日数は、依頼の多い月が20くらいで、1〜3月の少ない月では数日です。就業時間も一定ではなく、長くて1日6時間、短いと1日2〜3時間です。

大変なのは、夏の炎天下での作業です。熱中症で倒れた人を、今まで



市民農園での手取り除草班の皆さん

3人見てきました。自分の身体は自分しか分からないのですから、1時間に1回は休憩を取って、水分補給をするなど気をつけています。班の中には80代の人何人もいて、最年長の90歳の人も元気に働いています。「身体を動かしながら働いているから元気に過ごせるんだ」と皆が言っています。釘本さんは、シルバーに入会して丸12年になりますが、入会当初から除草班一筋でやってきました。これからも好きな酒とたまの競馬を楽しみに、元気なうちはずっとこの仕事を続けたいと話していました。

◆生涯現役！輝くシルバーさん②7◆

学童擁護業務 池田隆義さん



市立第六小学校の学童擁護業務に就業している、池田隆義さんにお話を伺いました。

池田さんは新潟の生まれで、子供の頃は田んぼ、野原を元気に駆けずり回り、高校卒業まで育ちました。高校時代に、バイクの交通違反取締りを受けた駐在さんのすすめで、警視庁採用試験に応募し合格。上京後、配属先は故郷の入口である上野となりました。

府中への転居は、二人の子供さんが独立し、落ち着いたマイホームを希望したからです。その結果、夢が叶い新町へ引っ越し14年となりました。

シルバーへの入会は、奥さんが見つけたきたシルバー会員の入会パンフレットがきっかけです。令和5年3月の退職予定を前に、2月に会員となりました。すると、事務局から「班長さんが辞めるので

班長になつてほしい」と依頼があり、急きよ4月から新町2丁目の班長を受けることになりました。

当初、メール便の配布で、30数か所のメール配布には2時間近くかかっていましたが、今では40分程度になりました。

趣味は多趣味で、スポーツではテニスグループに所属し、元気に汗を流し活動しています。音楽鑑賞のほか、ピアノ、ウクレレ、オカリナの演奏も楽しんでいます。また、プラモデルでお城、航空母艦の作製なども楽しんでいきます。

警察を退官後、警備関係の仕事に就くほか、シルバーでは、学童擁護業務でシフト表の作成などを担当しています。子供たちからは、いつも元気でエネルギーをもらい、充実した毎日を送っているとのことでした。



これからシルバー 応援フェスタの開催

1月22日(月)午後1時半から、市民活動センター・プラッツのバルトホールで開催されました。

地域社会に貢献し、様々な分野で働くことのできるシルバー人材センターの魅力、ライフスタイルに合わせた無理のない働き方が選択できるメリットを広く発信しました。会員拡大を図るため都内7か所で開催されるフェスタで、当センターが運営を担いました。

市内外から事前予約した76名が参加され、シルバー人材センター紹介に続き、毒蝮三太夫さんが講演されました。その後、健康測定、入会相談会を行い、23名が当センターの入会説明会を予約し、記念品を受け取り帰宅されました。



梅まつり・小物販売の開催

2月の土日・祝日の午前10時～午後3時まで、郷土の森物産館で、「手作り小物班」(新たに「FSCハンドメイドクラブ」に改称)の販売会が開催されました。

紅白の梅をはじめ、約120種1,300本の梅を観に訪れた人々で、会場はにぎわっていました。

新たな販売品として、入園・入学の準備用品のほか、吊し雛、袋物、ポーチなど、丁寧に作られた商品が並べられました。

足を止めて商品を手にとり見てみる方々に、班員が声をかけて説明していました。販売日ごとに商品を並び替えるなど心掛けます。

「ハンドメイドクラブ」は、市内で催し物があるときは、販売活動に参加して活躍しています。



元気な班長さん 第2回 ◆ 中央地区 ◆



60歳の定年で退職し、シルバーに入会して3年ほどです。班長のことには知りませんが、メール便が届くので誰かが配布しているとの認識はありました。

事務局から「班長さんはどうですか」とのお話に、「はい」と即答しました。この呼びかけには、心温まるものを感じました。事務局の説明で頭に残っているのは、月1回のメール便を届けるということで、これなら私にもやれそうだと思います。

地域委員から、班長会議や清掃ボランティアにも参加してほしいと要請があり、班長にはこういう役割もあるのかと分かり、参加しなくてはという気持ちでした。

メール便の配布では、マンションが多くそれを採すのに苦労し、また表札がない会員も多く誤配が心配

矢田浩一さん

です。ご夫婦で会員の場合、メール便は2部ですが1部だけの投函ミスもありましたが、それを心待ちする会員もいます。でも配布が中心なので、これでいいかという気持ちがあるの隅にあります。

班長会議は、自己紹介や情報交換が中心です。清掃ボランティアはまごつかずに参加でき、毎回参加する会員を見つけています。

班長は会員の親睦を図るという難しい役割がありますが、会員から見ればそれに参加を呼び掛けられなくても、「はい」というかは不明です。戸建ての多い地区とマンション住まいでは、会員のニーズが違うかもしれません。

毎月のメール便には、「班長の思いなども加えて届けるのも良いのかな」と最近考えています。



**第8回ふれあい作品展が
開催されました**

3月15日～17日までの3日間、府中市美術館市民ギャラリーにおいて、「ふれあい作品展」が6年ぶりに開催されました。60歳以上の市民が作品を発表するもので、絵画・書道・写真・工芸などの各分野で76名の方が出展され、うちシルバー会員は25名でした。

このほか、特別展示コーナーでは「書道教室受講者」の作品が展示されました。

作品展の観覧者は、受付で渡された「出展一覧」を手に、知人の作品を見つけて出来栄えに感心されたり、興味を持った作品をしつくりと眺めて



いる姿などが見られました。

鑑賞後に来場者にも願いましたアンケートには、「どの作品も力作で素晴らしい。会場が落ち着いていて雰囲気も良く、鑑賞しやすかった。このようなイベントがあることが知られていないので、広報を工夫した方がよい。次回を楽しみにしています」など、好意的



なご意見を数多くいただきました。来場者は3日間で535名を数え、盛況裏に終了しました。次回も多数の作品の出展をお待ちしています。

**第33回「安全健康推進大会」
東郷寺・府中の森公園ウォーキング**

3月16日(土)、安全委員会、会員就業・交流事業検討会主催によるウォーキング大会が開催されました。今回のウォーキングは、東郷寺から東府中を経て、府中の森公園、美術館の見学コースです。

10時に、多磨霊園の東郷寺に43名の会員が集合し、府中市の名木百選に選ばれたしだれ桜の元で、松井会長から挨拶がありました。



東郷寺は、明治の海軍大将・東郷平八郎の別荘地の跡地に建つ日蓮宗のお寺です。春に見事なしだれ桜が咲くことで有名ですが、今回は残念ながら桜の開花はありませんでした。

桜を見たかったなどの思いを胸に、東府中駅の南の清水が丘第3公園に



向かい、そこで小休止・水分の補給です。

そこから京王線を渡って、都立府中の森公園に向かいます。途中、府中の森芸術劇場を通り、府中の森公園を抜けて、最終目的地の府中市美術館に到着しました。

そこで検討会の古田座長から閉会の言葉をいただき解散となりました。そのあとは、三々五々開催中の「ふれあい作品展」を見学・鑑賞し、各自昼食を摂るなどして、帰路につきました。

5月陽気の暖かな日となり、交流行事を楽しんだ参加者は満足の表情を浮かべていました。

KSK(会員就業・交流事業検討会) 写真コンテスト入賞作品の発表

写真コンテスト第27回の入選作品



池岡 道範さん
『トラックで運ばれる広島城?』

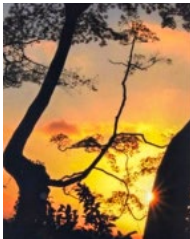


村野 幸夫さん
『満開の菊と高層ビル』



松村 巖さん
『深大寺紅葉』

写真コンテスト第28回の入選作品



田丸 博巳さん
『夕陽』



池岡 道範さん
『晩秋の府中公園』



田中 和美さん
『晩秋の午后』

写真コンテスト第29回の入選作品



青木 裕吉さん
『初日の出 是政橋』



松村 巖さん
『お正月3日目の朝焼け』



田丸 博巳さん
『1才10か月 初デビュー』



青柳 奎吾さん
『天高く』

市民活動センター「プラッツ」バルトホール



●会場
府中市宮町1-100
ルシーニユ内5階
府中市市民活動センター
「プラッツ」バルトホール

●日時
令和6年6月20日(木)
午後1時より

当センター定時社員総会を、次の日程で開催します。詳細につきましては、改めて通知いたします。

令和6年第75回
定時社員総会の
開催のご案内

事務局職務分担のお知らせ

4月1日時点 ※傍線…新担当

関根 昌一(事務局長)

総括

湯沢 信好(事務局長代理)

法人運営関係、総会・理事会、公益社団法人の報告等

小谷田 洋平(次長)

総務委員会、新入会説明会・面接会、広報関連(ホームページ等)、学校関連業務、選挙関係他

市川 政史(次長代理)

会員就業・交流事業検討会、事業に係る統計・調査等、教室事業、府中市庁舎関連業務、現金管理等

佐々木 友也(事務職員)

安全委員会、日常経理、予算決算・職員給与及び福利厚生他、補助金申請・報告他、配分金集計、会費管理等

中田 公留実(事務職員)

地域委員会、一般労働者派遣、放課後子ども教室、子育て支援業務、小物班、子育て広場、メール便他

内田 真納美(事務職員)

※旧姓木村(事務職員) 業務委員会、就業開拓員に関する事、除草・市民農園関係、スポーツ施設管理業務、全駅自転車誘導整理・撤去等

関根 佑(事務職員)

植木の手入れ、公共有料駐輪場整理・民間施設管理、自転車保管所、網戸の張替え他

馬場 善章(嘱託職員)

※毎週金曜休務日(嘱託職員) 文化センター施設管理関連、公共施設管理他、経理・補助金・給与補助

竹田 清(嘱託職員)

※毎週水曜休務日(嘱託職員) 都立公園清掃、公共・民間施設・スポーツ施設清掃業務、筆耕他

佐藤 優子(嘱託職員)

家事援助サービス、家庭日常清掃、エアコン・換気扇清掃他

鴉田 理恵(嘱託職員)

民間全般(清掃・事務・軽作業)、洋服のリフォーム他

三浦 佳恵(臨時職員)

窓口対応・電話応答・請求補助、就業報告書及び請求書発送、事務補助

小畑 朝江(臨時職員)

窓口対応・電話応答・請求補助、就業報告書及び請求書発送、事務補助

「ボートレース平和島・ピーススタートツアー」に参加

コロナ禍が明け、2月26日と3月12日に、4年ぶりにKSK(会員就業・

交流事業検討会)企画の「ボートレース平和島・ピーススタートツアー」に行きました。

今回は、同競艇場が工事中のため、一回に20人の予約となりました。渋谷副会長のご尽力により、2回に分けて、40人の会員が参加することができました。

1回目は強風下でのレース、2回目は雨の中のレースとなりました。レースは少々荒れ気味でしたが、多くの初心者の方がベテラン組に混じり楽しんでいました。



2月26日の参加者



3月12日の参加者

また、勝負に勝つことよりも、レースを通して会員相互の理解と融合のよい機会となったことでしょうか。次年度も企画したいと思っております。是非新入会員の方、勝負事が初心者の方も、ふるって参加くださるよう期待してまいります。

計 報

- 中田 栄光 (宮町)
- 青木 晃子 (浅間町)
- 小澤 八郎 (四谷)
- 設楽 厚子 (西府町)
- 大崎 順子 (南町)
- 松木 廣行 (八幡町)
- 吉田 剛 (是政)

謹んでお悔やみ申しあげます

編 集 後 記

春の日差しが暖かい季節になりました。近隣の小学校の入学式が行われたようです。

大きなランドセルを背負い、小さい手を繋いでくれた亡き母に連れられて、郷里の小学校の門をくぐった思い出がふと蘇りました。

本号には、健康増進と会員間の交流などを目的とした、「安全健康ウォーキング大会」や6年ぶりに開催された「ふれあい作品展」の記事が掲載されています。60歳以上の府中市民の作品など、76点が一堂に展示されました。

ふれあい編集担当は、記事取材のため、インタビュー、写真撮影など地味な作業を行っています。今後とも読者の皆さんに喜んでもらえる紙面作りに努めてまいります。

(総務委員長 佐藤)

